

重点推進方策Ⅴ

生産と消費を結ぶ上伊那の食の展開

上伊那らしさが伝わる地産地消と食農教育の推進

上伊那地域の農産物の地元一般への認知度向上 (「上伊那の花」認知度向上プロジェクト はな高々い～な:略称「花プロ」)

■背景とねらい

上伊那地域は県内でも有数の「花き」の産地で、アルストロメリア、トルコギキョウ、カーネーションなど、高品質な花々が栽培されている。しかしながら、当地域における花生産は、多くの場合ハウス等の施設内で栽培されているため、人目に触れることがあまりないこと、生産された花のほとんどが県外の市場に出荷され、地元で流通販売されることが少ないことから、一般には上伊那地域が「花の大産地」であることは、あまり知られていない。

また、上伊那地域は若者、特に若い女性の地域外への流出が大きな課題となっており、人口減少対策の柱として、女性や若者に選ばれる地域になるための戦略が求められていた。

そのため、「花の大産地 上伊那」の認知度を高め、「花」の需要喚起や生産振興を通じて、地域における花の日常化や花の関連産業の拡大を図るとともに、「花き産業」を若者に身近に感じてもらい、進路選択の一つに感じてもらえるようことを目的に、「はな(花)高々い～な(伊那)」プロジェクト(略称:花プロ)を立ち上げ5月のキックオフイベント以降、趣旨に賛同する協力団体とともに取組を行ってきた。

■本年度の取組と成果

1 上伊那の「旬の花」の通年展示

伊那合同庁舎2階玄関ホールにて、「アルストロメリア」、「カーネーション」、「リンドウ」、「トルコギキョウ」、「シクラメン」、「ランキンユラス」など、上伊那を代表する旬の花の展示を12回/年実施した(写真1)。

5月に開催したキックオフイベントでは、県民ホールのリニューアルに合わせ、5月にフラワーアレンジメント講座を開催した。

展示に伴い、伊那市有線放送農業協同組合の番組「暮らしに花を!」番組制作に協力し、季節の花の解説のほか、花を楽しむための様々な

豆知識やイベントの様子などを交え、トークや関係者へのインタビューにより上伊那の花の発信を4回/年実施した。



写真1 「上伊那の旬の花」展示の様子

2 局HPに「花プロ」専用ホームページ開設
地域振興局HPに「花プロ」専用ホームページ(写真2)開設し、「花プロ」の取組をアーカイブ化することで、アクセスすることで「花の大産地」上伊那の魅力を発見できるような体制づくりを行っている。

はな(花)高々い～な(伊那)プロジェクト

上伊那は花の大産地!! ～本プロジェクトの目的～

上伊那の「花」は「鼻」が高くなるものがたくさんあります!!

県内でも有数の「花の大産地 上伊那」の認知度を高め、「花」の需要喚起や生産振興を通じて、地域における「花の日常化」や「花の関連産業の拡大」を図ります。そして地域振興を図りながら、多様な人材が「花」で活躍できる環境を。本プロジェクトに賛同する関係機関・だいたい・個人(以下「賛助機関等」という)と共同で実施し、「花後や花き」に選ばれる魅力ある地域づくりを目的としています。

最新情報

本プロジェクトにおける、各種取組情報をお知らせします。

「アルストロメリアとランキンユラス」の展示開始2月17日～



2月17日から伊那合同庁舎2階の展示ホールにて「アルストロメリアとランキンユラス」の展示

上伊那農業高校生がシクラメン販売12月5日



上伊那農業高校生2名が、伊那合同庁舎2階の展示ホールで、市内で育てたシクラメンの販売を行いました。販売開始時間前には行列ができたそうです。

上伊那農業高校生が現地視察11月14日



11月14日(木曜日)に「上伊那農業高校生5名がアルストロメリア生産地の視察」。

写真2 専用ホームページの様子

3 『「花の大産地 上伊那」花カード』の発行
本年度は、県広報コミュニケーションプランナー協力の下で、出荷量日本一となった「トルコギキョウ」と県花・日本でも有名な育種家が管内にいる「リンドウ」について、6種類(2

品目×3品種）カードを作成・発行した。

今回発行した6種類は、上伊那オリジナルで地域性をアピールし、カード番号、原産国、花言葉、花の特徴を記載したほか、「生産量」、「汎用性」、「花持ち」、「お買い得感」、「生産者愛」などを数値化。遊び心も交え、一般にも楽しめるように工夫、コレクション意欲にも配慮した。また、QRコードも記載し、QRコードから「花プロ」専用ページへアクセスを出来るようにした。カードは生花店や「花プロ」協力団体のイベント等で配布している。



写真3 作成・配布した「花カード」

4 花の魅力発見講座「花カフェ」

10月12日（株）伊那食品工業とコラボし、一般県民向けの講座「花カフェ」を開催した。当日は20名の参加があった。

講師のJA上伊那の花き指導担当者からは、上伊那で栽培される花について、また、長野県生花商業組合会員からは、身近なものを活用したアレンジメントの仕方など、「上伊那の花」の「基礎」、「体験」、「活用」を解説していただいた（写真4）。



写真4 上伊那の花の特徴を説明する講師

5 『「花プロ」with上農』

上伊那農業高等学校の植物コース2年生20名を対象に、地元の「花き関連産業」を進路の選択としての有望性を学ぶ機会『「花プロ」with上農』を地域振興局がプロデュースし、授業カリキュラムの中で4回/年実施した。

授業の狙いは、①栽培技術の基礎を学ぶ、②プロの技術に触る、③花に関する職業を知るの3点で、生産者、JA等関係機関や販売団体も協力して実施した（写真5、6）。

参加した生徒からは、「花」を身近に感じるようになった。「花き関連産業」も職業の選択肢として考えるようになったなど、前向きな意見も聞かれるようになり、取組の効果が出てき始めている。



写真5 花の流通に関する視察の様子



写真6 農家視察の様子

■今後の課題と対応

「花プロ」はまだ始まったばかりで、一朝一夕に成果を得ることは難しいが、地域の皆さんを巻き込みながら、これからも花で上伊那地域を盛り上げ、多様な人材が上伊那地域の花産業で活躍できるよう「需要喚起」と「生産振興」の課題に引き続き取組んでいく予定である。

今後も、「花プロ」に乞うご期待。

（技術経営係 小池）

上伊那地域の農産物の地元一般への認知度向上 (地元酒米を使った地酒PR事業)

■背景とねらい

上伊那地域は酒米の産地であり、JA上伊那では、需要に合った酒米の生産と品質向上・集出荷の改善に取り組んでいる。

しかしながら、コロナ禍の影響により日本酒の消費が低迷し、令和4年産の出荷契約量は元年産と比較し、約半分に落ち込んだ。最近ではコロナ禍から回復基調にあり、酒造会社からは酒米の増産を求める声が上がっている。

また、管内では棚田パートナーシップ協定が締結されるなど、生産者と酒造会社等が連携した活動が始まるなど酒米と地酒振興の機運が高まりつつある。これを機に地元産の酒米と地酒をPRし、地元での地酒のさらなる消費拡大を図る。

■本年度の取組と成果

1 「信州伊那街道・秋の呑みあるき」イベントでのPR

9月28日に伊那市セントラルパークを中心に開催された「呑みあるき」に上伊那地域振興局として、商工観光課、農地整備課とともに参加し、上伊那の酒・棚田・酒米をPRした。支援センターからはパネル展示とともに酒米3品種の試食を実施した。酒の試飲とそれに対応した酒米の試食は盛況で酒米の特徴や飯米との違い、品種特性を解説し、訪れた方々に関心を持っていただくことができた。



写真 「呑みあるき」での酒米のPR

2 「JAまつり」での上伊那米のとPR

11月9日及び10日に行われた「JA上伊那まつり」出展、パネルや標本展示を行い上伊那の花・酒米のほか、伊那米総合試験地の取組を紹介し、上伊那が米の産地であることを改めてPRした。新品種を含めた米の試食を行い、食べ比べにより来場者の関心を引いた。



写真 「JAまつり」での米のPR

3 「上伊那の酒米」リーフレットの発行

「上伊那の酒米」をPRするリーフレットを作製、酒飯店、酒蔵を通じ、日本酒の消費者に配布した。



写真 「上伊那の酒米」リーフレット

■今後の課題と対応

引き続き、酒米の生産振興となるよう、酒米生産者と醸造元（酒蔵）がつながりを持ちながら、上伊那の酒のPRに取り組んでいく。

(技術経営係 福本)

地産地消、食育の推進

■背景とねらい

学校給食への地元農産物提供に長年取り組んできた宮田村と中川村の生産者組織では現状に合わせた仕組み作りについて検討が始まった。また宮田村の新しい食育組織『食 emi』では幅広い関係者が連携し合うことを目的としている。円滑な組織活動の継承となるよう支援していく。

■本年度の取組と成果

1 学校給食における地産地消の推進

宮田村の生産者組織「学校給食を育てる会」（平成 16 年発足）、中川村「おいしい野菜届け隊」（平成 22 年発足）は上伊那でも先進的な取組を行ってきた。生産者と子供たちをつなぐ体験イベントや生産者会の組織検討等の活動支援を行った。

2 宮田村『食 emi』食育講演会開催

食育講演会を 2 月 23 日に宮田村公民会館にて開催。「おいしい信州を食べよう」をテーマに日本キッチン育児協会代表の大口知子氏を講師に招き、料理実習 24 名、講演会 26 名の参加があった。準備段階から講師選定、県支援事業の活用等の支援に取り組んだ。



写真 1 食育講演会での料理実習の様子

■今後の課題と対応

地産地消と食育を結ぶ学校給食については生産者組織の意識と連帯が重要となる。高齢化対策や慣行と有機のバランスといった課題解決にむけて支援を続ける。

（地域第二係 岡野）

農産物加工組織の活動支援 （のうさん味ネット上伊那の支援）

■背景とねらい

高齢化や販売機会の減少など厳しい状況にあつて活動が停滞気味となっていた加工組織だが、今年度は新たに 1 組織の加入もあり、コロナ禍以前のような活動が再開され始めている。

■本年度の取組と成果

1 研修会の開催

6 月 28 日の総会に併せて開催した第一回研修会では「手書き POP の書き方のコツ」として加工品の PR の仕方、買いたい気持ちにさせる POP のコツなどを学習、当支援センターの職員も講師となって活動を支援した。



写真 1 第一回研修会の様子

3 月 14 日には、「農産加工の衛生管理について」をテーマに第二回研修会を開催。ハサップの衛生管理について学習し手洗いチェッカーを使った手洗い実習を行って意識を高めた。

2 のうさん味ネットフェアの開催

飯島町の道の駅「花の里いいじま」で、10 月 20 日に開催された「のうさん味ネットフェア」では、味ネットに加入する全組織が出店し、対面販売ならではの商品と活動の PR ができた。また、お互いの商品を紹介し合いながら情報交換する場づくりの支援ができた。

■今後の課題と対応

加工にチャレンジしようとする農家等の支援と仲間づくり、組織化を進める。農産物に付加価値をつけ、地域農業を活性化させるため組織の在り方についての検討も継続が必要。

（地域第二係 岡野）

令和6年度webを活用した管内の旬の農産物の情報発信 実績

上伊那地域振興局ブログ 「い～な上伊那」

月日	タイトル
5月16日	OPEN！牛肉を食べるなら「信州箕輪もみじ湖夢の里」
5月24日	「伊那米物語」伊那地域に適したお米の品種は何だろう？
6月7日	「上伊那の花はハナタカダカ！」認知度アッププロジェクト始動！！
6月18日	上伊那の「カーネーション」でハナタカダカ！母の日はなぜカーネーション？
7月5日	「リンドウでハナタカダカ！」長野県の「県花」は、ナ～ニ？
7月12日	「リンドウでハナタカダカ！」パート2～ウサギの神様とリンドウの根っこ？
7月19日	麦の脱穀で我ら汗だく！ ～麦類脱穀収量調査の巻～
7月23日	懐かしのスクールランチと農家さんに湧く感謝☆
7月30日	「はな高々い～なプロジェクト」イベント開催！ ～高2男子、ブーケを作るの巻～
8月1日	はな高々い～なプロジェクト「『花カフェ』参加者募集!!～フラワーアレンジメントを作ろう♪～
8月29日	「トルコギキョウでハナタカダカ！」～名前の由来は…異国の被り物？～
10月4日	「シンテッポウユリ」でハナタカダカ！～かわいい子は「風に乘せて」旅をさせよ？～
10月7日	上伊那の秋の風物詩といえば…「小ふな」!?
10月17日	くらすわの森「ら」ランチのあとは「野菜」と「肉」ですね！
10月21日	2024年産信州みやだワイン「紫輝」の仕込みは上々、おいしくな～れ！
10月30日	「シクラメン」でハナタカダカ！～なぜうつむいて咲くの？～
11月14日	「viva！おやきviva！しそジュース」あなたの好きなおやきの具は？
11月28日	伊那市富県小学校でフラワーアレンジメント教室を開催しました
11月29日	手づくり上伊那 味づくし♪のうさん味ネットフェアが開催されました！
12月4日	「伊那米物語」上伊那でつくったいろんなお米を食べてみよう♪
12月13日	「駒ヶ根あんば柿」物語
12月17日	大盛況！上農高生のシクラメン販売会！withはな高々い～なプロジェクト
12月23日	上伊那の花の魅力を凝縮！「上伊那の花カード」デビュー！！
2月18日	切り花335点が一堂に！「信州フラワーショー ウインターセレクション」
3月19日	上伊那の花の未来を創る！花のプロと上農生の意見交換会
3月28日	ねっとり美味しさ黄金級☆干し芋「おいもちゃん」出張販売



ブログ「い～な上伊那」



花プロ ホームページ